

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス・わくわく		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 13日		～ 2026年 1月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2026年 1月 13日		～ 2026年 1月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々に合った活動を提供しつつ、自己選択・自己決定できるような支援の工夫をしている。	いつも自分がしたい遊びばかりにならないように、つけたい力を踏まえ、時には数人が寄ってできるルールのあるゲーム遊びに誘いかけたり、選択できるように複数の遊びを示したりするようにしている。	指導員が様々な遊びを提供できるようにスキルアップを図る。
2	障害の理解や発達課題等の理解を深め、適切な支援につなげるために外部講師を迎えて研修会を継続している。	年間計画に基づいて研修会を開催しているが、参加が難しい職員には、復命したり資料を配付したりしている。	研修会の継続を図る。また、なるべく多くの職員に参加してもらえるように働きかけていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや地域の方との交流する機会がない。	地域の公園に出かけることはあっても、自治会の行事を把握し切れていなかったり、閉所日である日曜日に行われていたりして参加することが困難である。	地域の行事等を把握し、可能な限り参加できるようにする。
2	個別の部屋や場所の提供が十分でない。	子どもの成長とともに個室が必要となることが考えられ、環境の見直しが必要である。	パーティションを使い室内を区切ったり、イヤーマフを活用してストレスや刺激を軽減したりする。また、パーティションの利用時には死角にならないよう注意する。
3	避難訓練や各マニュアル等の周知が十分でない。	訓練当日に参加していない方々へお伝えできていない。	参加の有無に関わらず、便り等を利用して訓練の様子を知らせるようにする。 各マニュアルに対しての周知の仕方を工夫する。